

ルーマニア、そして世界デビューへのパスポート

14TH

ROMANIAN INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION

2018.8.22-8.26
港区高輪区民ホール

応募締切 2017.7.17必着

二次審査

ピアノ・声楽部門	2018年8月22日(水)
弦楽器・管楽器部門	2018年8月23日(木)
打楽器・アンサンブル	2018年8月24日(金)

本選

ピアノ・打楽器・アンサンブル・声楽部門	2018年8月25日(土)
弦楽器・管楽器部門	2018年8月26日(日)

主催：ルーマニア国際音楽コンクール実行委員会
後援：ルーマニア大使館・国際交流基金・港区・港区教育委員会・港区国際交流協会・株式会社音楽之友社・株式会社河合楽器製作所・株式会社ヤマハミュージックジャパン・株式会社ブリマ楽器・株式会社ハンナ・株式会社せきれい社・モーストリー・クラシック・アルソ出版株式会社
協賛：コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社・ユーロアジアトレーディング株式会社
特別共催：公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団



TOKYO 2020
応援プログラム



第14回ルーマニア国際音楽コンクール



日程

一次審査 (音源審査) 2018年7月17日(火)

二次審査

ピアノ・声楽部門 2018年8月22日(水)
弦楽器・管楽器部門 2018年8月23日(木)
打楽器・アンサンブル 2018年8月24日(金)

本選

ピアノ・打楽器・アンサンブル・声楽部門 2018年8月25日(土)
弦楽器・管楽器部門 2018年8月26日(日)

表彰式(全部門) 2018年8月26日(日)

応募部門

- ①ピアノ ②声楽 ③弦楽器
④管楽器
⑤打楽器
⑥アンサンブル(3~6人)

課題

一次審査:(音源審査)10分以内の自由曲1曲

二次審査:10分以内の自由曲1曲

声楽部門のみ自由曲2曲(但し歌曲1曲、オペラアリア1曲)

本選:15分以内の自由曲1曲

声楽部門のみ自由曲2曲(但し歌曲1曲、オペラアリア1曲)

(注)

1:録音音源には、応募部門・応募者の氏名・曲名・作曲者名・録音年月日を明記すること。録音は3年以内であること。コンサートライブ録音も可とします。

2:一次・二次は同じ曲でも構いませんが、本選は異なる曲を演奏して下さい。

3:伴奏はピアノに限ります。(一次・二次審査、本選を通して無伴奏でも可)

4:打楽器部門のマリンバについては、ネオリアこおろぎから(こおろぎ社製PF3000CF)を実行委員会がレンタルし、出場者の方に無料でお使い頂けます。

各賞

最優秀賞/賞金50万円・トロフィー・賞状
副賞として渡欧往復航空券および
ルーマニアペレシュ城他でのコンサート

特別賞 /トロフィー・賞状・賞金(50,000円または、商品)
ルーマニア大使館賞
NPO法人日本ルーマニア音楽協会理事会賞
コカ・コーラボトラーズジャパン賞 他

各部門 /メダル・賞状 1、2、3位

会場

二次審査、本選、表彰式とも港区高輪区民ホール
※二次審査からは公開

応募資格

15歳以上、国籍は問いません

審査料

30,000円 (但し、アンサンブル部門は35,000円)

締め切り

2018年7月17日(火)必着

審査員(予定)

嶋田和子(NPO法人日本ルーマニア音楽協会理事長)
セバスチャン・ギョルギュ(ルーマニア・コンサートディレクター)
ラドゥ・ネキフォル(ルーマニア・パンフルート奏者)
三瀬和朗(作曲家・桐朋学園大学作曲科客員教授)
大橋春奈(ピアニスト)
大澤一彰(オペラ歌手)
雲井雅人(サクソフォン奏者・国立音楽大学教授・
相愛大学客員教授)
中谷孝哉(打楽器奏者 武蔵野音楽大学教授・
宮内庁式部職楽部オケ打楽器)

申し込み・問い合わせ

NPO法人日本ルーマニア音楽協会内
ルーマニア国際音楽コンクール実行委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-8
クローバー 神谷町4階
TEL:03-6450-1216 e-mail info@r-ms.org
http://www.r-ms.org



NPO法人日本ルーマニア音楽協会

音楽を通して東欧ルーマニアの文化を世に広め、
日本とルーマニアの友好と文化交流を深めることを目的に
2005年12月、ルーマニア大使館の協力のもと発足。

国際交流を根底としたアーティストを発掘し、年間を通して
現地のこども達へピアノを贈る募金活動を行っています。

2005年より毎夏東京にてルーマニア国際音楽コンクールを開催。
最優秀賞受賞者はルーマニアにて海外デビューのチャンスが
与えられます。また、コンクール入賞者によるルーマニアへの
演奏旅行などを開催し、現地の高校・大学において日本語と
音楽の交流授業やコンサートを行い、学生との交流を深める
プロジェクトも行っています。